

JARL

香川クラブ報

No. 400 平成27年4月15日



平成26年度通常総会

J A 5 Y D E

クラブミーティングの御案内

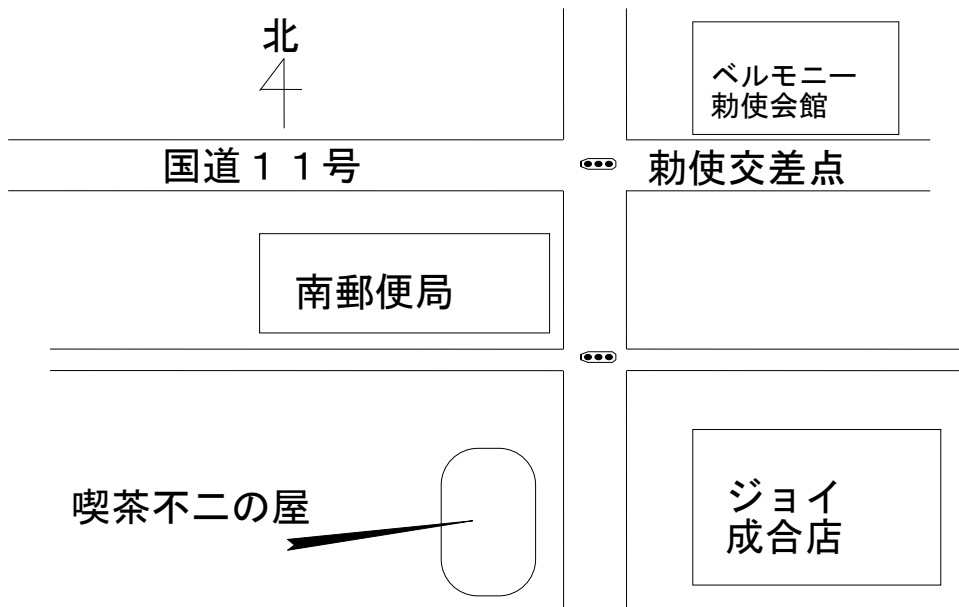
先日３月２１日、喫茶不二の屋で通常総会が無事終わりました。４月から香川クラブも新年度に入りますが今年度は大きな行事もなく運営方法もまだ決めていません。

運営方法等よい案があればと思い、早々にミーティングを開催致したくご案内させていただきます。

連休明けにご多忙とは思いますが多数の御出席宜しくお願い申し上げます。

記

- 日時： ５月１４日（木） １９：３０～２１：００位
場所： 成合町 喫茶不二の屋
議題： １． 新年度の行事等及び運営方法
２． オールＪＡ５コンテスト
３． フィールドミーティング
４． その他



平成 26 年度通常総会の報告

De JA5TOP

桜の開花宣言が高松でも待たれる春分の日、3月21日(土)13:30から成合町の「喫茶不二の屋」にてJARL香川クラブの平成26年度通常総会が行われました。

少し遅れると連絡のあったクラブ員を待ち、予定より5分遅れで三木副会長の開会宣言により総会が始まりました。会長あいさつでは三好会長からクラブ行事に参加、協力に対するお礼の言葉もありましたが最近、行事の参加者が10人を下回ることがあるのは少しさびしく感じると苦言もありました。今回の総会には出席者も思ったより多く13名と8通の委任状もあわせて「総会議事を開ける三分の一以上の出席(委任状を含む)」を上回り、会長の言葉はあったものの総会の成立数が多くてホッとしました。

続いて、来賓あいさつにJA5MG 稲毛 OM が指名されて「退任後機会あるごとにご挨拶とお礼を言って来たのでもないよといいながらも・・・」と珍しくJARL会長の重責から解き放されて私たちのクラブへ帰って来た安堵感を見せていました。

さらに三木副会長から四国地方本部などの情報があればと指名されて、私から香川県支部の製作技術講習会「モールス受信練習に開発したCWトレーナー」の紹介やJARLの90周年行事で特別記念局8J590Yの運用や記念アワードの発行について報告、またこの号でJA5MG 稲毛 OM が記事を掲載されていますが、総会を待つ時間に平成27年1月5日施行の新アマチュアバンドプランのパンフレットが三木副会長の機転で配られました。

平成26年度の事業報告、会計報告のあと会計監査が定款16条により出席者全員で承認されました。続いて役員改選となりましたが今まで庶務と編集印刷、発送の業務を担当してくれた坂内さんから仕事を一段落して若いときからの夢を実現するため役員を退任させてほしいと申し出があり、混迷はありましたが他の会員の協力により業務の分担や新しく引き継ぐ役員が決まりました。この改選の中で庶務係が空席となり希望を募ったが就いてくれる人が無く、後日三木副会長に兼務をお願いし、承諾を戴きました。また賞典はアワード発行が無くなったため廃止、JA5MG 稲毛 OM には顧問に就任していただき、クラブの運営にご指導いただくことになりました。そのほか本人から声があった方でJA5UY 長尾 OM も元気な笑顔を見せて技術担当を継続、会計係のJH5WMN 山口さんも継続して引き受けていただくことになりました。

三好会長からクラブ員皆さんに協力要請があり、多くの方は留任となり平成27年度の事業計画案説明があり承認されました。あとバンドプランの説明や質疑応答の後、5月のクラブミーティングの日程を決めて閉会となりました。



出席者 JA5MG／JA5UY／JA5AHM／JA5IJL／JA5TFJ／JA5TOP／JH5EZB
JH5LYW／JH5WMN／JE5PBO／JG5JXW／JI5SAO／JI5VUZ／JI5XTP
(14名)

委任状 JA5AA／JA5IRP／JA5UVT／JF5ICA／JG5OBX／JG5RST／JI5VWA／
JR5IKV
(8名)

通常総会委任状から近況報告

欠席委任のあった方

- JA5AA : 不思議なことにまたひとつ年をとりました。今後どうすれば良いか思案するばかりで、ハムはさっぱりお休み中です。
- JA5IRP : 歩行困難となり失礼します。皆様によりしくお伝えください。
- JR5IKV : 寒い日が続いています。お身体を大切になさってください。
- JF5ICA : 元気で忙しくやっています。
- JG5OBX : いつもお世話になります。冬は寒いです。でもミカンを食べられるからいいか。それではまた
- JG5RST : 残念ながら視野欠損のため身障者となりました。
しかし、無線局を閉局するつもりは全くありません。
ARDFにも参加したいぐらいですから。
- JI5VWA : 皆様お元気ででしょうか
- JA5UVT : コメントなし

※その他

総会出席者で返信のあった方

- JA5AHM : 「高松市高齢者居場所づくり事業」を立ち上げ、毎週金曜日の午後「フッカー競技」を行っています。60 歳以上の方なら誰でも歓迎します。お茶、お菓子付き会費無料。
- JA5TFJ : いつもお世話になっております。細々ながら ON AIR しています。今後とも何卒宜しくお願いします。
- JA5TOP : 仕事を退いてボランティア活動等、楽しく又地域に役立つことに挑戦しています。
- JH5EZB : 家での時間が多く CW 帯で遊んでいます。コール下さい。
- JG5JXW : 7 MHz CW で J C C 2 0 0 取れました。
- JI5SAO : アマチュア無線をしている方がだんだん少なくなっていますが、今から 5 年、10 年後、15 年後どうなっている以下心配になってきています。もっと若い方にアマチュア無線を始めてほしいです。
- JA5MG : コメントなし
- JA5UY : 同上
- JA5IJL : 同上
- JH5WMN : 同上
- JH5LYW : 同上
- JE5PBO : 同上
- JI5VUZ : 同上
- JI5XTP : 同上

平成 26 年度事業報告

平成 26 年

4 月 25 日	高松市趣味協会総会	参加者 3 名	コープ栗林
5 月 15 日	J A 5 Y D E クラブミーティング	出席者 6 名	不二の屋
5 月 18 日	徳島県支部 A R D F 競技大会	選手 5 名 スタッフ 2 名	徳島県阿波市
5 月 25 日	A R D F 四国地方大会	選手 5 名 スタッフ 2 名	高知県香南市
6 月 15 日	第 3 回 J A R L 定時社員総会(クラブ員 JA5MG, JH5LYW 参加)		東京
7 月 6 日	JARL 香川県支部役員・クラブ代表者合同会議		国分寺町
7 月 19 日 20 日	交信局数 103 局 オール J A 5 コンテスト参加 マルチ社団の部四国第 1 位 (他に個人の部入賞者 1 名)		三谷町
7 月 26 日 27 日	焼肉パーティー&(移動運用はしなかった) 参加者 16 名		三谷町
9 月 14 日	製作技術講習会 (ワンフレイズ C Q マシン)		栗熊コミセン
10 月 13 日 17 日	～高松市趣味協会 秋のロビー展		高松市役所 1 F ロビー
10 月 26 日	関西地方 A R D F 競技大会	参加者 5 名	兵庫県加東市
11 月 9 日	北四国 A R D F 競技大会(香川県担当) 参加者 3 名 スタッフ 10 名		公渕公園
11 月 13 日	J A 5 Y D E クラブミーティング	出席者 8 名	不二の屋
11 月 15 日 16 日	A R D F 全日本大会 144MHz の部 参加者 6 名 " 3.5MHz の部 参加者 6 名 応援 2 名		広島県福山市
11 月 23 日	高松市震災対策総合訓練	出席者 7 名	鬼無小学校
12 月 1 日 15 日	交信局数 284 局 ～香川マラソンコンテスト 社団の部第 2 位 (他に個人の部入賞者 4 名)		県内各地
12 月 20 日	J A 5 Y D E 忘年会	参加者 7 名	ぜにや

平成 27 年

3 月 8 日	愛媛県 A R D F 競技大会	参加者 5 名 スタッフ 1 名	愛媛県砥部町
3 月 15 日	ハムフェスティバル i n 香川		三菱電機体育館
3 月 21 日	J A 5 Y D E クラブ通常総会		不二の屋
3 月 22 日	A R D F 呉公認大会	参加者 (4～5 名予定)	広島県呉市

会 計 報 告

(平成 27 年 3 月 31 日締め)

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前年度より繰越	92,048	クラブ報発行費	14,278
会 費	52,000	J A R L 会費	10,800
高松市趣味協会補助金	3,000	電波利用料	300
		高松市趣味協会会費	6,000
		通信費	1,668
		会議費	22,250
		フィールドミーティング補助	17,555
		クラブ報印刷費 (25~26 年度分)	20,000
		次年度へ繰越	54,197
合 計	147,048	合 計	147,048

※ 預金通帳は廃止しましたので預金利息はありません。

上記のとおり報告します。

J A R L 香川クラブ会計係 J H 5 W M N

役 員 改 選

平成 2 6 年度		役職名	平成 2 7 年度	
コールサイン	氏 名		コールサイン	氏 名
JH5LYW	三 好 伸 幸	会 長	JH5LYW	三 好 伸 幸
JH5EZB	三 木 博 之	副会長	JH5EZB	三 木 博 之
J I 5 X T P	坂 内 信 洋	庶 務 (兼務)	JH5EZB	三 木 博 之
JH5WMN	山 口 博 司	会 計	JH5WMN	山 口 博 司
JA5AHM	天 野 英 弘	名誉会長	JA5AHM	天 野 英 弘
JA5TFJ	横 田 寿 夫	編集 編集 印刷 編集 発送	JA5TFJ	横 田 寿 夫
JA5TOP	平 賀 正 明		JA5TOP	平 賀 正 明
J I 5 V U Z	市 原 義 博		J I 5 V U Z	市 原 義 博
J I 5 X T P	坂 内 信 洋		JG5JXW	坂 井 進 史
JA5IJL	林 廣 次	企画・渉外	JA5IJL	林 廣 次
JE5PBO	岡 田 光		JE5PBO	岡 田 光
JF5ICA	向 井 勝 一		JF5ICA	向 井 勝 一
JG5OBX	丸 山 博		JG5OBX	丸 山 博
JA5 UY	長 尾 浩 孝	技 術	JA5UY	長 尾 浩 孝
JA5 MG	稲 毛 章	顧 問	JA5MG	稲 毛 章
JH5LYW	三 好 伸 幸	社団局	JH5LYW	三 好 伸 幸

平成 27 年度事業計画

平成 27 年

4 月 19 日	ARDF 香川県支部大会（東かがわ市）	JARL 香川県支部
4 月中旬	高松市趣味協会総会	高松市趣味協会
5 月 14 日	クラブミーティング	J A 5 Y D E
5 月 24 日	ARDF 四国地方大会（徳島県）	JARL 四国地方本部
6 月 14 日	第 4 回 J A R L 定時社員総会（東京）	J A R L
7 月 5 日	JARL 香川県支部役員・クラブ代表者合同会議	JARL 香川県支部
7 月 18 日 19 日	A L L J A 5 コンテスト	JARL 四国地方本部
7 月下旬	夏のフィールドミーティング・クラブミーティング	J A 5 Y D E
9 月 6 日 ～ 11 日	IARU Reg3 ARDF 大会（群馬県）	J A R L
9 月 13 日	製作技術講習会	JARL 香川県支部
9 月中旬	クラブミーティング	J A 5 Y D E
9 月 27 日	北四国地方 ARDF 競技大会（愛媛県担当）	JARL 香川県支部
10 月上旬	高松市震災対策総合訓練	高松市
10 月 14 日 15 日	ARDF 全日本大会（滋賀県）	J A R L
10 月下旬	高松市趣味協会 秋のロビー展	高松市趣味協会
11 月中旬	クラブミーティング	J A 5 Y D E
12 月 1 日 ～ 15 日	香川マラソンコンテスト	JARL 香川県支部
12 月中旬	クラブ忘年会	J A 5 Y D E

平成 28 年

2 月上旬	クラブミーティング	J A 5 Y D E
3 月 20 日	ハムフェスティバル i n 香川	JARL 香川県支部
3 月 日	クラブ通常総会	J A 5 Y D E

クラブ報（年 6 回）偶数月毎 15 日発行 第 400 号から第 405 号

上記事業計画に沿って、各行事に参加・協力して行く予定です。
クラブ員各位の積極的な参加をお願いいたします。

J A R L 香川クラブ会員名簿

平成27年4月1日現在

	コールサイン	氏 名	住 所		コールサイン	氏 名	住 所
☆	J A 5 A A	久米 正雄			J H 5 L Y W	三好 伸幸	
	J A 5 D B	土居 憲吉		*	J H 5 P R J	美智江	
	J A 5 M G	稲毛 章		*	J E 5 I K W	勝博	
*	J A 5 C S S	キミ子			J H 5 W M N	山口 博司	
	J A 5 U Y	長尾 浩孝		*	J R 5 I F Q	幸子	
*	J A 5 D Z M	和子		*	J I 5 I Z J	浩平	
*	J R 5 G C R	祥弘			J R 5 E H B	吉田 秀司	
	J A 5 A H M	天野 英弘			J R 5 G L O	谷本 清司	
*	J A 5 C B F	己代子		*	J G 5 L Y Z	英彰	
*	J G 5 C S G	伊知郎			J R 5 I K V	多田 喜久子	
	J A 5 E T K	佐藤 康弘			J E 5 B Y S	東原 正則	
*	J A 5 I M F	充子		*	J E 5 U K D	明子	
*	J H 5 R Y G	弘		*	J F 5 B J B	正和	
	J A 5 I J L	林 廣次			J E 5 P B O	岡田 光	
*	J F 5 P M A	美代子			J F 5 I C A	向井 勝一	
*	J F 5 P M B	昌隆		*	J F 5 I C B	一恵	
	J A 5 I R P	人見 和郎			J F 5 M E D	山田 章登	
*	J A 5 O I A	絃美		*	J G 5 T J J	知子	
	J A 5 P N I	星野尾 力			J G 5 J X W	坂井 進史	
	J A 5 T F J	横田 壽夫			J G 5 O B X	丸山 博	
*	J H 5 D C W	ツヤ子			J G 5 R S T	細川 和真	
	J A 5 T O P	平賀 正明			J G 5 W T P	滝井 孝雄	
*	J H 5 U E Y	涼子		*	J I 5 V W S	太	
*	J E 5 G O A	恭子			J I 5 S A O	丸山 誠	
	J A 5 U V T	詫間 哲			J I 5 V W A	三谷 さつき	
*	J J 5 C A E	富美子			J I 5 V U Z	市原 義博	
	J H 5 B K C	細谷 正文			J I 5 X T P	坂内 信洋	
	J H 5 E Z B	三木 博之					

☆：名誉会員 *：家族会員

※ おことわり 例年総会後のクラブ報4月号に載せています「クラブ定款」は今回特に改正も無く、用紙節約から省略させて載きます。

愛媛県支部 A R D F 競技大会 (145MHz)

144MHz z 部門 (愛媛県伊予郡砥部町麻生地区周辺)

2015 年 3 月 8 日 (日)

クラス	順位	コールサイン	所要時間	検索個数	備 考
M21	5 位	J G 5 O B X	1 時間 39 分 52 秒	3 個	スタート時はまだ肌寒く陽だまりを求めて寒さを凌ぐ程だったが競技が始まる頃にはお天気に恵まれ穏やかな一日となった。山の鉄塔の反射に惑わされ各局苦戦しました。
M40	2 位	J F 5 M E D	1 時間 32 分 22 秒	4 個 (5 個)	
M50	1 位	J G 5 W T P	1 時間 26 分 41 秒	4 個	
M60	4 位	J H 5 L Y W	1 時間 36 分 41 秒	2 個 (4 個)	
M70	1 位	J A 5 U V T	1 時間 20 分 17 秒	3 個 (4 個)	



第 22 回 呉 A R D F 競技大会 (145MHz)

144MHz z 部門 (広島県呉市川尻町 野呂山山頂付近)

2015 年 3 月 22 日 (日)

クラス	順位	コールサイン	所要時間	検索個数	備 考
M21	4 位	J G 5 O B X	1 時間 39 分 49 秒	2 個	毎回同じエリヤで開催される大会なのに、いつも同じ過ちを繰り返し反省だけが残る大会です。滝井OMが竹の切り株を踏み抜いて負傷。TX 設置場所には気を付けてほしいものです。
M40	1 位	J F 5 M E D	1 時間 52 分 15 秒	5 個 (6 個)	
M50	—	J G 5 W T P	負傷欠場	3 個	
M60	2 位	J H 5 L Y W	1 時間 48 分 46 秒	3 個 (5 個)	
M70	1 位	J A 5 U V T	1 時間 13 分 36 秒	4 個	



電波の有効且つ積極的利用

JA5MG 稲毛 章

今年の1月5日、総務省よりアマチュアバンドの改正新プランが、規則に基づき告示され施行されました。ご存知のように電波法令による規定ですので、国内の全アマチュア無線局は運用に際して厳守しなければなりません。

2月下旬の総務省の通達によると、この新プランに基づきアマチュア無線局の電波監視を1カ月間実施したところ、全国で65局が法令違反をしていたとの事です。特にバンド内であっても、狭帯域のSSBで運用する時に、帯域幅が3kHzあり、LSBとUSBの使い方を新人の人は忘れていることです。

電波法の目的には「この法律は、電波の公平且つ能率的な利用を確保する事によって、公共の福祉を増進することを目的とする」と定められており、電波は有限の資源でありますので、国民誰もが勝手に電波を発射する事はできません。すべて許可が必要で、私たちもアマチュア無線を楽しむ為に無線従事者と無線局の二つの免許を取得しております。

一方、許可周波数は無線局毎に法令により定められていて、アマチュア無線局に許可されている周波数帯は、

MF・HF帯は 計12波帯で3,227kHz幅あります。														
周波数帯	k/MHz	135	475	1.9	3.5	3.8	7	10	14	18	21	24	28	
周波数幅	KHz	2.1	7	20	95	53	200	150	350	100	450	100	1700	
V・U・SHF帯では 計13波帯 5,356MHz幅あります。														
周波数帯	M/GHz	50	144	430	1200	2400	5.6	10.1	10.4	24	47	77	134	248
周波数幅	MHz	4	2	10	40	50	200	250	50	50	200	500	2000	2000

合計25波帯5,359MHz幅もの電波利用が許可されているのです。

国内の無線局総数は現在15,724万局で携帯無線等が98%を占め、簡易無線局90万局、基地局68万局、その他無線局50万局。アマチュア無線局は44万局が上記の多くの電波を利用しています。電波は非常に貴重なものとされており、その昔から1波が数億円の価値があると言われております。アマチュア無線はあまりにも贅沢!!と言われそう。

業務用周波数は年に数百万局の無線局増加に耐えきれない状態になりつつあり、特に携帯無線用の周波数割当に苦慮しているようです。

これまで、アマチュア無線用周波数帯の新規拡大はJARL等の運動により順調に成果を得ています。現在も5MHz帯の獲得を目指しておりますが、このような中でアマチュア無線の周波数が狙われそうです!!。

クラブ員の皆さんも多くのバンドを確保し、アマチュア無線を大いに楽しみましょう。

「2014年マラソンコンテスト結果発表」 洩れのお詫び

J A 5 T F J

2月号のクラブ報で、みだしの結果発表を掲載しましたが、その内容は、社团局マルチバンド・マルチモードの部として、当クラブ局 J A 5 Y D E の成果およびクラブ員9名の部門毎の得点や参加日数等を載せました。

しかし、その内容に1名の方が掲載漏れとなっていたことを、編集員の誰もが気付かずに印刷し、発送してしまい、該当のご本人はもとより皆様に大変失礼を致しました。ここに改めてお詫びとお知らせをさせて戴きます。

この事については既に県支部報にも掲載され、先日のハムフェスティバル i n 香川の会場においても表彰されましたので皆様もご存知かと思いますが、昨年12月のクラブ報で新入会員として皆様にご紹介いたしました J G 5 J X W 坂井進史さんが初参加で「7MH z 電信の部、第1位、224点、12日」の輝かしい成績で入賞されていたにもかかわらず、クラブ報への掲載が抜けていました。遅くなりましたが、ここにその成績を掲載させて戴きます。坂井さん大変申し訳ありませんでした。何卒ご容赦下さいますようお願いいたします。そしてなお、今後とも大いなるご活躍をお祈り申し上げます。本件、編集員を代表して深くお詫びを申し上げます。

(コンテスト結果表を訂正の上、再掲いたします)

2014 香川マラソンコンテスト結果			
* 社团局マルチバンドマルチモードの部			
2 位	J A 5 Y D E	24,380 点	15 日
* 個人局マルチバンドマルチモードの部			
2 位	J A 5 T F J	34,965 点	15 日
3 位	J I 5 X T P	23,600 点	15 日
4 位	J H 5 L Y W	17,190 点	15 日
6 位	J A 5 T O P	6,360 点	15 日
10 位	J A 5 M G	896 点	2 日
* 7MH z 電信の部			
1 位	J G 5 J X W	224 点	12 日
* 14MH z 電話の部			
1 位	J A 5 A H M	100 点	8 日
* 144MH z 電信の部			
1 位	J H 5 E Z B / 5	754 点	15 日
* 430MH z 電話の部			
5 位	J I 5 S A O	1,100 点	15 日
11 位	J A 5 U V T	120 点	3 日

夢叶う日

DE J I 5 X T P

「定年になったのでアマチュア無線を再開しました」の記事を無線雑誌でよく見るようになった。退職して時間に余裕が出来ると思えば昔習得した「アマチュア無線」を思い出し再開するのでしょう。

私がアマチュア無線の免許を取った動機も定年後に何か趣味を持っていれば、より充実した生活が送れるのではと思います、いろんな趣味の中からアマチュア無線を選択し2000年6月、50歳で2アマを取得した。いざ免許を取得したが運用の仕方が判らず大きなアンテナが建っている家を見つけると飛び込みで訪問をしてアマチュア無線についていろいろと教えてもらった。

また無線機を購入しようと中央公園横の電化センターに行ったら店の人のいろいろな話していると、「それなら明日、国分寺の青年センターでアマチュア無線のニューカマー講習会があるから行ってみたら」と気さくに声をかけてくれた人がいた。翌日申込みもしていないのに会場を訪ねると「今広間で講習をしているから受講したらいいよ」と親切に招き入れてくれた。講習会場には10人位の人たちが熱心に話を聞いていた。講師は小柄なおじさんで八木アンテナを振りながら「これがARDF競技に使う受信機で受信音とアッテネータのメータの針の振りの具合で送信機(TX)のある方向がわかります」と説明がされていた。この人が香川にARDFを広めた今は亡きARDFerの岡田OMでした。

無線を始めるにあたって短期間で多くの人に出会った。電化センターでは三好会長、講習会では森国支部長、詫間OMなどなど。この趣味は人との出会いをもたらしてくれる。これからどんな人と出会えるのかとわくわくした。

無線機を購入してダイポールアンテナを設置した時、近隣の森田OM(現在の四国地方本部長)が訪ねてきてくれアンテナの測定方法を教えてくれた。受信が出来るようになると毎夜ワッチしてコールサインを聞く練習をした。最初はコールサインをうまく聞き取ることができず四苦八苦し初交信にワッチから3ヶ月を要した。一度交信ができるとあとは慣れで毎夜遅くまでラグチューをした。



CWは縦ぶり電鍵を独学で習得したので送信操作が鞍下式になっており高速送信をするには反動式での練習が不可欠だと、のちに他無線クラブのOMに聞かされたが一度覚えた操作をなかなか変えることは出来ず、今も縦ぶり電鍵送信の時には苦戦を強いられている。

またCW交信はラバースタンプなので一通りのことを打ち終わると「73」で終わりになり物足りなさを感じてきた。それなら和文を覚えてラグチュー交信をしようと思い和文を覚えた。これも合調法(・ー イトー、ー・・・

ハーモニカなど)という間違った覚え方をした。合調法は符号を受信するとその符号をもう一度脳で文字に変換をしなければならず、和文に不可欠な暗記受信ができにくいのである。和文符号を覚えると実践をかねて、他無線クラブのOMにお願いをして毎夜3ヶ月間、時間を決めて交信をしたが暗記受信ができるには至らなかった。でも受信に慣れてくると前文を読みながら筆記していくことができ、受信後すぐに送信が出来るようになった。また和文特有の癖のある符号や闇雲に高速送信をしてくるOMさんの符号には書き取るのに苦労し、また会話が噛み合わない事もあった。

次に興味を持ったのがコンテストである。最初はサービスにのみで参加をしてみたが、今までのんびりと縦ぶり電鍵で交信をしてきたのでコンテストの高速送受信についていけずコールが聴き取れない。コンテストに参加をするには縦ぶり電鍵では駄目だと思い、パドルの送信操作を習得するため三好会長にお願いをしてパドル操作ビデオカメラに収録させてもらった。そのビデオを見ながら練習をしてパドル操作に慣れてきたころ再度コンテストに挑戦をすると送信スピードも以前とは段違いにアップしていた。

コンテストには移動して参加をすると得点が2倍になる「フィールドディーコンテスト」があった。その時には移動用の無線機を持っていなかったので固定機と同じメーカーの無線機を購入してコンテストに参加をした。移動してのコンテストはコンディションに左右され浮き沈みする信号が聴き取れずなかなか交信が成立しない。だが急に浮きあがった信号をキャッチし受信出来た時の喜びは固定シャックにはない醍醐味があった。

インターネットの国内クラスターを見るとコメント欄に RS-〇〇とアップされているのをよく見かける。最初は何のことが解らなかったが、道の駅に移動をしている局と交信した局長さんがアナウンスをしているのである。クラスターにアップされている周波数に合わせるとすごいパイルになっている。運用している局長はそのパイルをテキパキとさばいている。そのさばきかたが神わざの如く早く上手い。この交信を聞いて次の目標が決まった「道の駅移動」だ。

道の駅移動にもいろいろと決まり事があり、まず駅長に挨拶をしてアマチュア無線運用の許可を取る。許可が下りればアンテナを設営する。当初は15mのワイヤーを5m立ち上げ、余りを水平に張りアンテナチューナーを使って運用をしていたが設営スペースが広くなり、周りを気にしながらで短時間しか運用が出来なかった。その後アンテナをホイップに替えると設営スペースが駐車場車一台分を確保するだけでいいので周りを気にすることがなく運用が出来た。



電源は12Vバッテリー2個を直列に接続しDC-DCコンバーターで13.8V落としての運用だったが、1時間位で何の前ぶれもなく無線機の電源が切れてしまう。バッテリーの電圧がダウンしたのだ。すぐエンジンをかけて車のバッテリーに切り替えるが、無駄の多い運用になってしまった。長時間の運用をするためにはポータブル発電機で電源を確保する事が不可欠になってきた。そこで低騒音で無線機、照明と冬にはヒータをカバー出来る1.6KVAの発電機とAC-DCコンバーターを購入した。これで移動用のアイテムがすべて揃った。道の駅移動はコマースの合間をぬって四国内83ヶ所の道の駅の内60ヶ所を3年かけて廻った。

今年を目前に迎え、全国の道の駅で移動運用する”夢叶う日”がそこにやってきた。現在、全国に道の駅が1040ヶ所ある。1ヶ月10～15日間の移動で1日に3駅をクリアしても全部を廻りきるのに3年位かかる計算だが急ぐこともないのでのんびりやろう。そして人との出会いを楽しもう。

私が夢をかなえることでクラブ役員の皆様方に多大なるご無理をお願いしましたこと、また快く送り出していただいたことに感謝をいたします。

3年後にはまたクラブ行事に戻ってきます。そのときまでGL 73。

クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。

原稿サイズ：B5サイズ出来ればWordで作成しメール、電子メールが無い場合はfaxか郵送。

送付先：E-MAIL

FAX 087

郵送先：

★★★ 新入会員募集中 ★★★

J A R L 香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成67年(1948年10月結成)になります。

そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。

クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新会員の募集にご協力ください。

*お知らせ

J A R L 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしています。免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。

また、平成27年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

J A R L 香川クラブ報

発行責任者	J H 5 L Y W	三 好 伸 幸
編 集 者	J A 5 T F J	横 田 壽 夫
	J A 5 T O P	平 賀 正 明
	J I 5 V U Z	市 原 義 博
	J G 5 J X W	坂 井 進 史